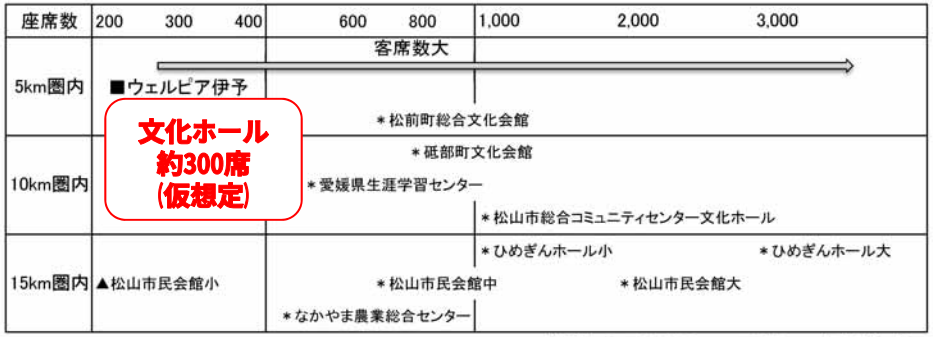
伊予市近隣のホールの分布
（広域での機能分担）

愛媛県民文化会館
松山市民会館
松山市総合コミュニティ
センター文化ホール
松山市
松山空港
坊っちゃん劇場
東温市
松前町総合
文化センター
ウェルピア
伊予
伊予市
建設予定地
愛媛県生涯
学習センター
砥部町文化会館
5km
10km
15km
障子山
三坂峠
上野峠
なかやま農業
総合センター
愛媛県
壺神山
内子座
笠取山
大洲市民会館
大洲市
神南山
瀬戸内海
©2012 Google - 地図データ ©2012 ZENRIN -



＊…劇場型、★…音楽専用、■…平土間、▲…伝統芸能主体

文化施設名	座席数 合計	座席数 内訳	ホール 間口 奥行 高さ	親子室	リハーサル室	会議室	和室	展示室	楽屋	その他	自主事業	併設・複合施設	特色	常勤職員数
松前町総合文化会館	696	固146 移550	15 13 7		1	4	2	1	2	4	○	図書館		5
砥部町文化会館	804	固790 移8 車イス6	15 11 7		1	5	2	1	3	2	○	図書館、郷土資料展示室	多目的ホール(音楽・劇場)	3
愛媛県生涯学習センター	501	固501 (車イス4)	16 15 8		1	7		1	3	2	○		残響可変、アトリウムあり	22
松山市総合コミュニティセンター文化ホール	988	固506 移482	18 14 8		4	11	4	1	5		○	体育館、図書館、こども館		5
ひめぎんホール小	1,000	固1,000 (車イス4)	16 16 8	2	4	10			27		○			15
ひめぎんホール大	3,000	固3,000 (車イス6)	20 25 20											
松山市民会館小	200	移200	－ － －		3	10	2		9				能舞台	15
松山市民会館中	700	固583 車イス2 立115	11 10 5											
松山市民会館大	1,999	固1,825 (車イス8) 立174	20 20 9										迫り	
なかやま農業総合センター	464	固464	10 5			2				5				0
伊予市市民会館	606	固606	13 6			4	1		2					0
ウェルピア伊予	230	移230	－ － －			7	4							

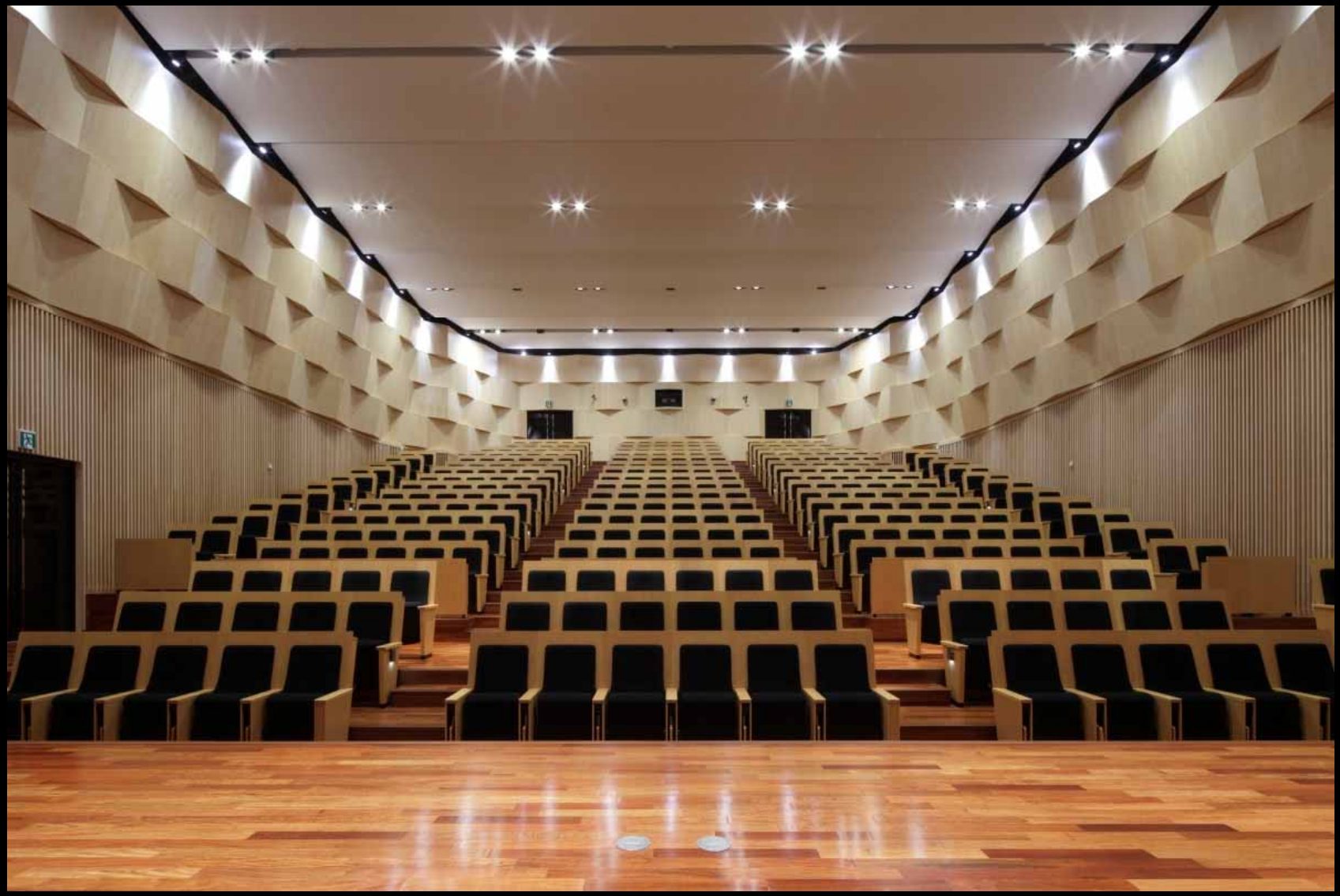
＜事例紹介＞

羽ノ浦コスモホール
（５５０席）
（図書館との複合施設）

かりるところ

広市民センター
（可動式座席：集会場のイメージ）

愛媛県医師会館
（３５０席）



可児市文化創造センター
（小ホール：３１１席）

出典：（雑誌）日経アーキテクチュア

パトリア日田
（小ホール：３５１席）

出典：（雑誌）日経アーキテクチュア/（カタログ）コトブキ

茅野市民館
（８００席+３００席）

出典：（雑誌）日経アーキテクチュア

「20歳前後の若者が集まってきて、『市長、ありがとう、本気で楽しめる場所をつくってくれて』なんて言われて、うれしかったなあ」。矢崎和広・茅野市長は、10月2日夜に茅野市民館で開かれた音楽ライブに参加したときの出来事をそう振り返った。

ライブの開かれたマルチホールは、可動式の客席をバックヤードに格納し、平土間にして使った。「自治体の文化施設に、平土間で使えるホールなんて珍しいでしょう？これこそ市民主導で施設をつくったからできた」と、設計を手がけたナスカー級建築士事務所の八木佐千子代表も楽しげだ。

茅野市民館は、多目的なマルチホール、コンサートホール、図書室、美術館などを備える大型の複合文化施設。矢崎市長の方針で、全過程を市民主導でつくり上げ、10月1、2日の両日、グランドオープンを迎えた。

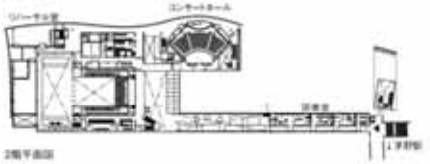
建設に向けて、最初に組織されたのは「茅野市の地域文化を創る会」。1999年8月、35人の市民が参加してスタートした。そこで基本構想案をまとめた後、段階に応じて発展させた市民の組織は、つねに事業の主役の座にあった。市民と市の担当者、設計者など関係者が開いたワークショップは、実に150回を超える。

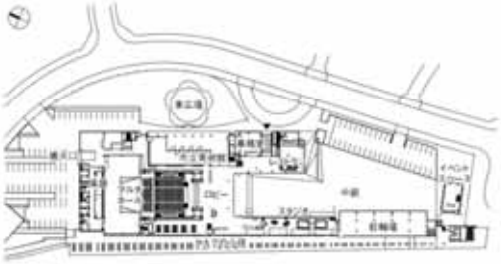
市民が主役という事業の進め方もオープンだったが、完成した建築もまたオープンだ。「ガラス張りのスロープは交流の“ショウケース”。駅のホームからも、市街地からも様子が見えて、街をつなぎ、人々をつなぐ」と、ナスカの古谷誠章代表は話す。

JR茅野駅と直結させたガラス張りのスロープや、そこにある図書室は、市民主導を象徴する空間だ。「電車の待ち時間に本を読める場があるといい」「待ち合わせ場所に使いたい」といった日常生活からわき出た現実的な声が下地になっている。

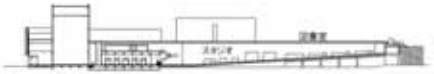
主役の仕事はまだ終わらない。市民主導の施設運営という難しい舞台の第二幕が、これから始まる。

〔松浦 隆幸＝フリーライター〕





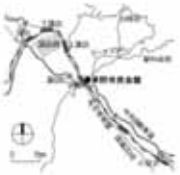
配置・1階平面図 1/2,000



断面図 1/2,000

スロープ沿いに細く図書室。蔵書計画も作民主導で立てた

JR茅野駅の跨線橋と直結したスロープの2階入り口。入るとすぐお手に図書室がある



南東から見た全景。手前にあるイベントスペースの部分で、JR茅野駅とつながる

イベントスペースの屋上にある展望台は人気スポットになっている

1階のマルチホール脇のトイレ。イベントに応じて、男女トイレの比率も動線も変えられる

開館する市立美術館から、マルチホール脇のロビー（写真左）を見る。入り口のまわりはガラス張りでオープンにし、入館しなくても展示の一部をうかがえるようになっている

2階のコンサートホール。扇形のプランに300席が並ぶ。幼児連れでも気兼ねなく鑑賞できる授乳室も備える

1階のマルチホールは、劇場から平土間まで動機器のスタイルにアレンジできる。劇場スタイルの時、約600人を収容。右の写真は、平土間にして開かれた10月2日のライブの様子（上の写真：茅野市民館）

利用者の声
voice

［遠いを実感］

市民参加でつくると、役所とは違うものになると実感した。駅の改札の近くに図書室なんて、よく考えられている。車いす用トイレがおしゃれで感心した。（50代の夫婦）

［図書室］

ガラス張りのスロープには独特の雰囲気があるけれど、スロープ沿いの図書室が階段状で、不便に感じた。（20代主婦）

［暑くないか］

ガラス張りは明るくていいけど、10月でも日が差すと暑い。夏は蒸し風呂のように暑くなるのではないか。（20代の男性）

［井戸端会議］

近所の評判は上々。一人で家にいるより、ここに来て新聞を読んだり、友達と井戸端会議をしたりしたい。（70代の女性）

2階ホワイエ。PCパネルのすき間にとったスリット状の開口部からはバケ丘が見える

メインエントランスのある妻側外観。住宅地に面しているため、外壁にはPCパネルを画面状に並べ、スリットの開口をとっている

●茅野市民館

所在地　長野県茅野市中町1-22
主用途　劇場、美術館、図書室
地域・地区　商業地域、法22条地域
　建ぺい率：36.70%（許容80%）
　容積率：69.55%（許容400%）
前面道路　北・東：17.0m
駐車場台数　101台
敷地面積　17,553.43m²
建築面積　6011.49m²
延べ面積　17,806.37m²
構造　鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造
階数　地下1階・地上2階
各階面積　地下1階648.08m²、1階5242.67m²、2階3808.27m²、3階1307.25m²
最高・軒　ペタ最高
高さ　最高部29.015m
階高・天井高　地下1階：階高5.20m・天井高3.23m、1階：階高6.30m・天井高4.46m、2階：階高4.50m・天井高3.70m、3階：階高5.00m・天井高4.20m
発注者　茅野市
管理者　地域文化創造（茅野市民館指定管理者）
基本計画策定業務・管理運営計画策定業務　ナスカ（古谷誠章）、シアターワークショップ（伊東正示）、アーバンハウス都市建築研究所（倉田直道）
設計・監理者　ナスカ・茅野市設計事務所協会設計監理共同企業体（ナスカ／古谷誠章、茅野市設計事務所協会）
設計協力者　高沢協力：スペースファクトリー（平野明治）、早稲田大学古谷研究室、構造：田中構造研究所（田中傑寿雄）、機械設備：設備計画（中村国宏）、電気設備：設備計画（森栄太郎）、積算：江島積算（江島一）、劇場コンサルタント：シアターワークショップ（伊東正示）、音響コンサルタント：永田音響設計（塚越雅子）、照明コンサルタント：ライティング・プランナーズ アソシエーツ（国谷鷹）、図書室家具：藤江和子アトリエ（藤江和子）、外構デザイン：プレイスメディア（吉村伸一）、サウンドスケープデザイン：オフィスショウノ（庄野泰子）、防災設計：安田防災（鈴木豊良）、明野設備研究所（上屋伸一）、グラフィックデザイン：竹村デザイン事務所（竹村弘樹）
施工者　＜市民館本体工事＞
建築：清水建設・永濱建設JV（鈴木郁夫）、設備：新東冷熱工業・大信設備JV（村野茂）、電気：東京工業・南新電気工業JV（金沢雅）、舞台：サンケン・エンジニアリング（小塩英彦）
＜イベントスペース工事＞
建築：木村建設（吉田貴春）、電気：共栄電気（宮沢秀樹）、機械：オケヤス（浜明行）
＜外構工事＞
高見土建（高見秀司）、泉建設（藤森三郎）
施工協力者　舞台音響：ビクターアークス、舞台照明：東芝ライテック
設計期間　2002年3月～03年1月
施工期間　2003年7月～05年6月

［建設費］（税込み）
総事業費　50億6039万8000円
設計・監理料　2億4979万5000円
総工費　48億1060万3000円
工費内訳　建築：27億4489万円、電気：5億2522万5500円、機械：8億3229万3000円、舞台：6億2650万3500円、外構およびその他付帯工事：8169万6000円
工事単位　44.5万円／m²（総工費／延べ面積）

［外部仕上げ］
屋根　ステンレス防水、シート防水
外壁　鋼製型枠コンクリート打ち放しの上水系シリケート塗料吹き付け（タフマックス）、特殊化粧型枠コンクリート打ち放しの上シリケート塗料吹き付け、プレキャストコンクリート（建研）の上シリケート塗料吹き付け、アクリル・フェノール系樹脂材（トレスパ、下地金物：五野ビニアン）、内外装セメント系厚塗り仕上げ（日永産業）、アルミスパンドレル、ガラス（セントレックス）
外まわり建具　アルミサッシ（三協アルミニウム工業、昭和網機）、スチールサッシ（三協アルミニウム工業）

［主な内部仕上げ］
共有部　床：カバフローリング（北海道パーケット工業）、石貼り、カーペット（アーチリア）、壁：スチールパネル、木製パネル、イタリアレッセ（エバーファーミト）、天井：リブ付き岩綿吸音板＋AEP、ロビー家具：木製ウレタン塗装、SUSパイプレーション仕上げ（チェリア）、図書室家具：スチール製焼き付けパール塗装（大喜）、その他：設置機器（フジマック）、防火シートシャッター（三和シヤッター工業）
マルチホール　床：ヒノキ集成材フローリング、カバフローリング、壁：MDFリブパネル、パンチングメタル、天井：パンチングメタル、石こうボード＋AEP、その他：客席椅子（コトブキ）、客席大型ロールスクリーン（文隆工業）、客席電動吸音幕（ヨコタ）、石き割り細板
コンサートホール　床：ヒノキ集成材、カバフローリング、壁：木製パネル、ステンレス鏡物、アルミ鏡板、MDFリブパネル、電動ロールスクリーン（テンパル）、天井：木集成グリッドシェル（安藤木材工業）、石こうボード＋AEP、その他：客席椅子（ワークプレイスソリューションズ）、遮音構造（ヤクモ）

［利用案内］
問い合わせ先　0266-82-6222
開館時間　午前9時～午後10時（図書室と美術館常設展示室は午前9時～午後7時、レストランは午前11時～午後9時30分）
入館料　無料（茅野市美術館は一般300円、中学生以下100円）
休館日　火曜日（祝日の場合は、その直後の休日ではない平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

より詳しい建築概要データなどは、本誌ウェブサイト「NA plus」（http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/NA/）で

800席

300席（音楽用）